

議会運営委員会 行政視察報告

議会運営委員会では、安城市及び横須賀市を行政視察しました。
概要は以下のとおりです。

(実施期間) 令和8年1月14日～令和8年1月16日

(視察場所) 安城市、横須賀市

(視察内容) 安城市：議会改革に関する取組について

横須賀市：議会改革について

〔安城市〕

安城市では、議会改革に関する取組について（議会ICT化について）、説明を受けた。

まず、議会ICT化についてのうち、タブレット端末の活用については、当時、民間企業出身でICTに精通し、議会のICT化の推進に積極的な議員が中心となって提案し、議会ICT推進PT（プロジェクトチーム）が発足。平成27年6月23日に第1回目の会議を開催し、計15回のPTを開催。主な検討事項としては、現状調査、ICTベンダーへのヒアリング、近年のICTトレンド調査、市執行部との意見交換、推進体制の検討、議員の操作及びリテラシー教育等とのことであった。平成28年3月定例会から本格的にタブレット導入が始まり、ICT化の効果としては、タブレット端末を導入したで紙の配布枚数が大幅に削減。費用対効果の算出結果は、システム使用料やタブレットレンタル費などのランニングコストはかかったが、人件費や印刷製本費、FAXの廃止などで、年間222万円の費用の削減が図られた。

また、タブレット端末を活用した電子採決システムの導入については、議会の魅せる化、議会発信のシティプロモーションを目的に、平成27年度から議会ICT推進基本計画に基づき、電子採決システムを平成30年度までに導入することを計画し、導入に至った。

委員からは、議員のリテラシー教育についてなどの質問が出された。



(安城市での視察風景)

〔横須賀市〕

横須賀市では、議会改革について（横須賀市議会実行計画「未来への羅針 2027」について、予算決算常任委員会について）、説明を受けた。

まず、議会改革についてのうち、横須賀市議会実行計画「未来への羅針盤」は、横須賀市議会内に設置されている政策検討会議が行う実行計画の策定、政策立案、政策の検証、政策への反映、改善を一体として策定されている。

平成 28 年 4 月、当時の議長が議会改革、新たなステージ、そして議会基本条例に規定している政策形成能力、これらをさらに強化していくべきとの強い思いから、先進市の大津市議会局職員を招き、議員研修会を開催。同年 7 月に会津若松市議会の政策形成サイクルについて、議会運営委員会が行政視察を実施。そして、11 月の議会運営委員会において、議長から議会全体での政策検討組織として、政策検討会議を設置することについて提案があり、平成 29 年 3 月、議会基本条例改正案を全会一致で可決し、政策検討会議が設置された。

政策検討会議は、政策の検討及び提案を積極的に行うために設置され、その目的は、議会全体で政策立案（条例制定または政策提言）を行い、課題解決に寄与すること、議員の任期（4 年間）で議会が取り組むべき課題を協議し、計画的に取り組むことである。

次に、予算決算常任委員会については、従来の分割付託による審査方法は、各委員会での表決結果が異なる可能性がある等の矛盾が生じることからこれを解消し、予算審査と決算審査を同一議員が行うことにより、総合的・一体的な審査を行うことを目的に平成 23 年に設置された。

委員からは、予算決算常任委員会導入後の定例会の会期日数などについて質問が出された。



（横須賀市での視察風景）